

～宜野湾市平和大使育成事業～

宜野湾市では、平和の大切さを次世代へ継承できる人材育成を目的とした「宜野湾市平和大使育成事業」に取り組んでいます。

令和7年度は、市内中学生8名と青年層1名の計9名を宜野湾市平和大使に任命しました。今回、県内で行った事前研修と、広島県・山口県での県外派遣研修の様子をご紹介します。

事前研修

株式会社うなゐ沖縄さまご協力のもと、7月24日・25日、8月25日の3日間にわたり、沖縄戦について学習しました。7月24日は、市立博物館長より、戦前の自然豊かな様子や、宜野湾の戦争被害、普天間飛行場の建設が始まる様子などについて学びました。その後、東京の千代田区平和使節団の皆さまと「戦争と米軍基地」や「宜野湾市の昔と今」などのテーマに分かれ、意見交換を行いました。

翌25日は、佐喜眞美術館を見学しました。丸木夫妻が描いた沖縄戦の図を見学し、沖縄戦の悲惨さについて学びを深めました。その後、RBCの仲村美涼アナウンサーより、新しい平和継承の形として「朗読」のレクチャーがあり、宜野湾の戦中・戦後の証言を通して、朗読の表現方法について学びました。

8月25日は、沖縄戦当時、日本軍と米軍による激しい戦闘が繰り広げられた嘉数高台や、戦中、地元の方々が避難していたフトウキアブ洞窟（西普天間）を見学しました。午後は、広島県の山陽女学園高等部の皆さまと「私たちが思う平和」について話し合い、平和について考える時間を共有することができました。



①館長の解説を聞く平和大使



②朗読レクチャー



③フトウキアブ洞窟体験（西普天間）

県外派遣研修

8月4日～7日の4日間、宜野湾市平和大使を被爆地「広島」と、空襲の地「岩国市」へ派遣しました。

8月5日は、安田女子大学の平和ガイドのもと原爆ドームや平和記念資料館を見学したほか、原爆投下時の広島の状態をVRゴーグルで疑似体験し、一瞬にして平和が破壊された原爆の実相を学びました。午後は、全国の青少年とともにヒロシマ青少年平和の集いに参加し、「今、平和ではない状態とはどのようなことがありますか。それはどうしたら解決できますか」などのテーマのもと話し合い、交流を深めました。

8月6日の「平和記念式典」では、核兵器の廃絶と恒久平和の実現に向け、平和の輪を世界中に広げていくことを誓い黙とうを捧げました。また、翌7日にかけて山口県岩国市にて岩国空襲について学びました。爆弾投下中心地の碑の見学や、錦帯橋について学ぶなど、これまで知ることのなかった各地の歴史に触れる貴重な機会となりました。

今後、平和大使は、事前研修や県外派遣研修で学んだことを、各中学校や市平和イベントで報告する予定です。



④広島原爆ドーム



⑤全国の青少年と平和について話し合う



⑥岩国空襲について学習

問合せ：市民協働課 ☎893-4119